

平成 30 年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告④

実施日：平成 30 年 12 月 15 日（土）

平成 30 年度ウィークエンド青少年セミナー第 4 回を、栃木県総合教育センターに場所を移して実施しました。今回は、演習として、総合教育センターで同日開催された開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の中の「だがしや楽校」の運営を行いました。

演習「自分たちも何かやってみよう！実践編」

～だがしや楽校の運営「学びの杜の冬休み」への参加をとおして～

ここまでの研修で、だがしや楽校の計画の立案から準備までを進めてきました。今回は、いよいよ実際の運営に携わります。当日は、会場がいっぱいになるくらいたくさんのお客さんが来場し、どの屋台も大盛況となりました。受講生たちは、演習前にはいろいろな不安もあったようですが、実際に子どもたちと触れ合う活動を通して、多くのことを学んだようです。参加してくれた子どもたちの笑顔を見ることができたということが一番の成果であり、受講生も充実感や達成感を味わうことができたようです。





受講生の声

- 想像以上に子どもたちが真剣に取り組んでくれて嬉しかった。また、少し難しいゲームでも、できるようにがんばる子どもたちの姿勢が見られた。子どもたちは、普段やらないようなことをたくさん体験できていたと思う。
- 子どもが想定外のことをしたり、意外と力が強かったりと、驚くことが多かった。また、子どもの年齢・性別・興味・関心によって求める遊びが異なり、興味深かった。
- 子どもたちがたくさん来た際に、1人ひとりに対する気配りをどうするか考えることが難しかった。最初に「1度にどれだけの人数に対応できるのか」と話されていた理由を体感できた。
- 想定外のことに対応できる柔軟性と対応力が大切であると感じた。
- 運営する側と参加する側の両方の視点から企画することが大切であることを改めて学ぶことができた。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！
TEL:028-665-7206 E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp